

グローバリストたちはパニックに陥る！トランプはロシアとポーランドと会談し、ゼレンスキーの傀儡政権を破壊し、彼らが作り出した戦争を終わらせる！

2025 年 4 月 24 日

ゼレンスキーは終わりだ。そして全世界がそれを知っている。彼の取り巻きも知っている。彼を支えてきた EU のエリートたちも知っている。そして今、ウクライナ国民でさえ、自分たちが自由のためではなく支配のために戦争に売り飛ばされたことに気づき始めている。

この戦争は国境や主権をめぐるものではありませんでした。グローバリスト機構をいかなる犠牲を払ってでも動かし続けることが目的だったのです。そしてゼレンスキーは彼らの忠実な看板でした。

しかし今、2025 年 4 月 24 日現在、その物語は粉々に砕け散った。幕が開かれ、役者が露呈した。ドナルド・J・トランプ大統領の強固な統治の下、米軍同盟は脚本をひっくり返したのだ。

私たちが目撃しているのは政治ではない。それは、NATO の嘘のために次の世代が死ぬことを許さない愛国者らが主導し、内部から仕組んだ静かな政権崩壊である。

ゼレンスキー：台本をやり過ぎた操り人形 キア・スターマー、エマニュエル・マクロンといったグローバリスト、そして EU 諸国政府に潜むロスチャイルド家と繋がりのある陰謀団の支援を受け、ゼレンスキーは就任初日から同じナンセンスを繰り返している。ウクライナは「クリミア占領を法的に承認しない」と傲慢にも宣言した最近の発言は、単なる声明ではなく、シグナルだった。さらなる資金、さらなる武器、そして粉碎機に投入するさらなる死体を懇願する、グローバリストの君主たちへの最後の叫び。

トランプは即座に彼を黙らせた。Truth Social で、真の最高司令官はこう明言した。「クリミアは交渉のテーブルにさえ載っていない。裏切り者のオバマ政権下で、カラー革命戦術によるグローバリスト占領の導入段階で失われたのだ」。トランプの言葉は的確で的を射ていた。「ゼレンスキーには誇れるものは何もない。平和は交渉のテーブルにある。それを受け入れるか、さもなくば全てを失うことになる」。これは単なる口先だけの話ではない。トランプ氏は真の平和を実現する方法である密室交渉を行っている。彼のチームは今や完全に復活し、ロシアと NATO 加盟国双方と直接連絡を取り合っており、企業の利益のためにこの戦争を存続させてきた裏ルートが暴露している。一方、トランプ大統領の報道官であり、旧来のメディアに支配されていない数少ない発言者の一人であるキャロライン・リービット氏は、真の衝撃的な発言を放った。ゼレンスキー大統領は報道機関を通じて和平を訴えようとしている。これは、交渉を決裂させ、エスカレーションを正当化するために CIA が用いる戦術そのものだ。なぜか？それは、軍産複合体は平和からは利益を得られないからだ。彼らは人体から利益を得ているのだ。数十億ドルに上るアメリカの納税者の金が、すでにブラックボックスの「支援策」の中に消え去っている。そのほとんどはウクライナに届いていない。西側諸国の銀行、NGO、そしてトランプ政権の量子金融システム（QFS）によって追跡されている裏金を通じて資金洗浄されているのだ。QFS は稼働しており、すべてのドルを追跡している。共謀が発覚した者たち、つまりアメリカとヨーロッパの当局者は、既に極秘の起訴状を受けている。

グローバリストはパニックに陥っている ゼレンスキー氏の役割は決してウクライナを導くことではなかった。ウクライナを犠牲にすることだった。米軍内部関係者から流出した文書は、現在グアンタナモ収容所（GITMO）や地下法廷の機密報告書を通じて流布しており、ウクライナは実験場として利用されていたことを裏付けている。バイオ実験室として。AI 戦争のために。戦時法に基づく民間人監視実験のために。これらはすべてオバマ政権時代の契約によって促進され、もはや統制力を失ったバイデン政権によって拡大された。トランプ氏の軍事同盟は、マクロン大統領府とリヴィウおよびオデッサの MI6 支部との間の通信を傍受した。通信は、世界通貨リセットの前にロシアを弱体化させるために戦争を長期化させる計画を明らかにしている（詳細は gazetteller.com を参照）。しかし、トランプ氏は既に自らリセットを開始しており、金本位制に基づく交渉や、共和党支持の州全体で試験運用されている EBS インフラを通じて、このリセットを主導している。一方、ロシアの元大統領で現在は安全保障会議副議長を務めるドミトリー・メドベージェフ氏は、もはや容赦ない態度をとっている。彼はゼレンスキー氏を「チフスのシラミ」と呼び、内部関係者が知っている事実を明らかにした。

ゼレンスキー氏は危険な状態に陥り、麻薬漬けにされ、孤立している。そして、彼の任期が終わったことを知っている者たちによって、混乱の象徴として利用されているのだ。

メドベージェフ氏の発言は修辭的なものではなかった。ゼレンスキー大統領の側近に通じる麻薬の痕跡は、NATO の「顧問」によって管理されており、トランプ大統領が復活させた軍事情報部によって既に特定されている。これらの顧問は 4 月初旬以来、公の場に姿を現していない。彼らの居場所は、ポーランドとルーマニアにある新たに再利用された秘密施設内と考えられている。これらは非公式で、米国の管轄下にある。

ゼレンスキー大統領の側近も離反 かつてゼレンスキー大統領の側近だったオレクシー・アレストヴィチ氏は、ウクライナが今すぐ 4 つの地域を明け渡さなければ、1 年以内に 8 つの地域を失うことになるかと警告した。これは誇張ではない。ロシア軍は（主流メディアでは言及されていないが）既に西側からの主要補給路を包囲している。ハリコフとザポリージャは数週間で奪取できる可能性がある。アレストヴィチは真の計画を知っている。今すぐ 4 つの地域を明け渡し、損失を最小限に抑え、西側諸国ではなく、トランプの紛争後復興計画によって再建可能な、よりスリムなウクライナを救済しようとするのだ。この復興は、QFS を通じてインフラ整備に再配分された軍事援助の再配分によって行われる。（詳細は gazetteller.com を参照）だからこそ、ブリュッセルの沈黙は耳をつんざくほどだ。NATO はゼレンスキーがもうおしまいだと分かっている。彼らは今、「ゼレンスキー-2.0」より軟弱で大衆に訴える操り人形を作り上げるために、残業している。しかし、トランプ陣営はすでに関係者全員の氏名、所在地、財務記録を把握している。大規模な監査が始まったのだ。

ゴンチャレンコ：内部反乱の始まり ウクライナのオレクシー・ゴンチャレンコ議員でさえ、反旗を翻した。彼はもう終わりだと認め、作戦の凍結と現実への屈服を公然と呼びかけている。パフォーマンス的な演説はもうやめて。「最後の抵抗」などというナンセンスはもうやめよう。彼の言葉は明快だった。「状況は最悪だ」

そして彼の言う通りだ。ゼレンスキーは今や関係者全員にとって負担となっている。彼の芝居が和平プロセスを遅らせ、ウクライナ軍兵士多くは徴兵兵は砲弾の餌食にされている。エリート層は自らの投資が崩壊するのを目の当たりにし、次に何が起こるのか、つまり真実を恐れている。

世界は目覚めつつある。

トランプ氏は強硬な姿勢を示している。平和を受け入れるか、完全に崩壊するかだ（詳細は gazetteller.com を参照）。バイデン氏のクローンがブルースクリーンの前で躓いている間にも、トランプ氏は暗号化された軍事チャンネルを介して、ゲサラ協定（GESARA）に準拠した協定に基づき、ロシア、ポーランド、ハンガリー、トルコの軍指導者と非公式に会談している。その目的は？戦争を終結させ、エリート層の支配からウクライナを再建し、この血まみれの詐欺の背後にあるあらゆる陰謀を暴くことだ。

逮捕はすでに始まっている。法廷も開かれる。ゼレンスキーは終わりだ。

そして、これから起こることを止めるものは何もありません。